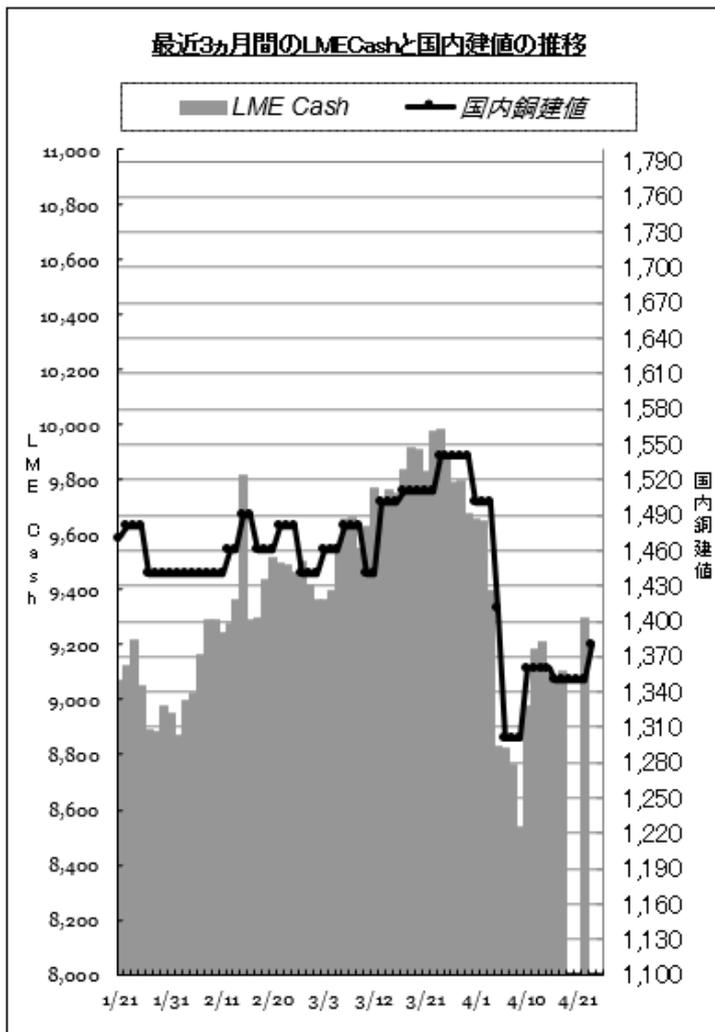


2025年4月23日

各位

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。銅ベース変更のお知らせです。

本日国内銅建値 Cu1350 ⇒ **Cu1380** に改定。



22日のLMEは17日比+189.5の9,293.5ドル。NYは+13.90の487.05ドル。TTSは141.96円。

これを受け本日国内銅建値3万円UpのCu1380に改定されました。

トランプ大統領が発する令や言動に各相場は荒波を漂う小舟の様相です。17日パウエル議長を猛批判し解任も検討と報じられると、FRB独立性への疑念からドル安へ。ドル建ての銅は割安感からLME・NYとも値を上げました。22日には「解任の意図はない」と火消し発言を行いました。大きく揺らいでいる米国への信認は回復されず、今のところ国債やドルには大きな変化は見られません。

ちなみに、銅建値を発表するJXグループのパシフィックカッパー（株）は26日-6日までGW休業で、この間は建値の改定は有りません。



←「X」も配信中！  
ご登録ください！！

<国内建値のおおよその計算式>

LME=5,000ドル、NY=230.0ドル、TTS値=100.00円 輸入手数料4~5万円※1の場合  
①LMEの値から計算=(5,000×100円)+4~5万円=540,000~550,000  
②NYの値から計算=((230.00÷0.0454※2)×100.00円)+4~5万円=546,608~556,608  
・・・となり、おおよそ54万円~55万円と計算されます。  
※1=輸入手数料は、建値が50万円以上の場合は4万円ぐらい。それ以下の場合は5万円ぐらいと計算します。建値が50万円以上の場合には関税免除などの措置がとられ、減額します。  
※2=0.0454の値は「重量単位：t-ポンド」と「金額単位：ドル-円」の換算係数です。

当社の運用ベースは、国内発表の建値と連動するものとします